

GFL

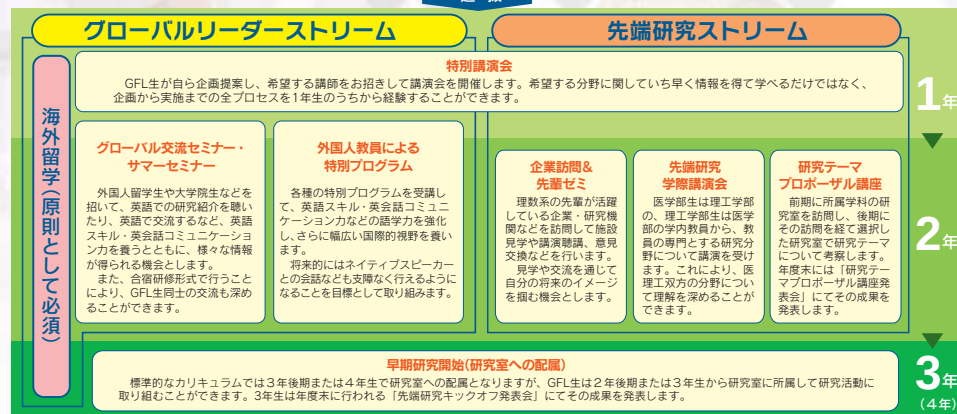
医理工GFLコース

(医理工グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース)

注:このプログラムは、平成24年度まで文部科学省委託事業「理数学生応援プロジェクト」として実施していた「工学系フロンティアリーダーコース(FLC)」を発展させたものとなります。

推薦入試・一般入試

選抜



早期の大学院進学
飛び級・飛び推薦・早期卒業

通常の大学院進学

博士前期(修士)課程・博士後期(博士)課程

グローバルフロンティアリーダー

VOICES 実感! GFLの学び

国際舞台で活躍するために

化学・生物化学科3年

田村 拓人 (群馬県立前橋高等学校出身)



チャンス

化学・生物化学科4年

野村 舞 (富山県立富山高等学校出身)



GFLを希望した理由は「グローバル人材の育成」に惹かれたという漠然としたものでした。理工学部GFLでは英語だけでなく、専門分野を活かす場面が多くあります。そのような中で、国際舞台で活躍するために必要なことを意識するようになりました。

GFLの中国(廈門)への留学に参加した際には、英語を使って専門分野に触れる機会が数多くありました。語学の充実などももちろん大切ですが、それだけに留まらず専門分野を活かしてどう取り組むかということが、研究者として国際舞台で活躍するために重要です。また、通常よりも早く研究室に所属できる環境から、同級生だけでなく、先輩方と研究について話す機会がたくさんあります。このような機会もGFLの利点の一つだと思います。

受験生の皆さん、毎日の勉強で大変だと思いますが、将来を少しイメージしながら志望校を選んでほしいです。そして、もし群馬大学に入学したら、ぜひGFLに参加してください。充実した大学生活を送れると思います。

入学時、私は大学生のうちにしかできない新たなことに挑戦してみたいという気持ちがありました。そんな時、充実した活動の機会を与えてくれるGFLの存在を知り、参加を希望しました。

実際に留学や企業訪問などの活動を通して、英語によるコミュニケーション能力やプレゼン能力を向上させたり、様々な分野の専門知識を習得したりすることができました。また、理工学部だけでなく医学部や教育学部、社会情報学部のGFL生と交流する機会もあるので、専門分野の異なる人達と互いに刺激しあうこともできます。私にとってこれらの活動は大変貴重な経験となり、自分の強みに繋がったと感じています。

チャンスをどう生かすかは自分次第です。きっと、新しい目標や夢中になれることが見つかるはずです。みなさんも、たくさんのチャンスに恵まれた環境の中で、他では得ることのできない貴重な時間を過ごしてみませんか。

Topics 01

世界に羽ばたく学生へ —留学支援—

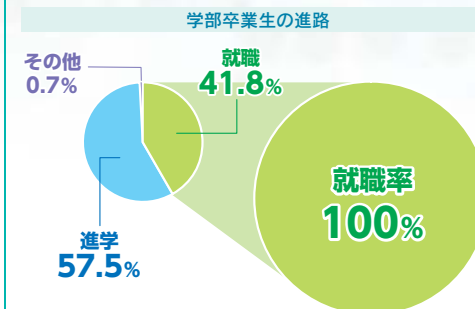
理工学部ではグローバル社会において活躍できる人材を育成するため、協定校への交換留学、海外派遣プログラムなどを通して、皆さんの海外留学をサポートしています。また、独自の「学生海外派遣支援事業奨励金」制度を創設し、経済的な支援を行うことにより、世界に羽ばたく皆さんを応援します。



Topics 02

目指す道が決まる。 高い進学率・我が国トップの就職率

学部生、大学院生ともに就職先は、一部上場の企業を中心としており、卒業・修了者数から進学者を除いた就職希望者の就職率を表す数値「実就職率」は100%と我が国トップクラスです。学部生は57.5%が大学院に進学し、大手企業や研究職としての就職を目指しています。全学科でインターンシップ(在学中にスキルアップを目的とした就業体験を行う制度)を単位化し、職業人としての意識を高めるとともに、大学に企業を招いての企業合同説明会などを実施し、就職に対して手厚くサポートしています。



企業合同説明会の様子

